

衆議院政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会ニュース

平成 30. 6. 15 第 196 回国会第 3 号

6 月 15 日（金）、第 3 回の委員会が開かれました。

1 理事の辞任及び補欠選任

- ・理事の辞任を許可し、補欠選任を行いました。

辞任 理事 佐藤茂樹君（公明）

補欠選任 理事 國重徹君（公明）（理事佐藤茂樹君今 15 日理事辞任につきその補欠）

2 政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する件

- ・野田総務大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

落合貴之君（立憲）

- ・投票率の推移によれば、若い時に投票に行かなかった人は中高年になっても投票に行かない傾向がある中、若年層に限らず幅広い世代を対象として投票方法等を分かりやすく啓発する必要があると考えるが、野田総務大臣の見解を伺いたい。
- ・供託金引き上げの理由の一つが選挙公営制度の拡充にあるが、供託金を下げる場合は選挙公営も縮小されることになるのか、両者の制度的な仕組みについて野田総務大臣に確認したい。
- ・先般成人年齢を 18 歳に引き下げる法案が成立し、成年として社会的責任を負っているのに被選挙権がなくてよいのかという問題もある中で、被選挙権年齢も引き下げるべきではないかと考えるが、野田総務大臣の見解を伺いたい。

松田功君（立憲）

- ・市町村の選挙は期間が短く、投票所入場券が投票日間に有権者に届くことがあるため、少しでも早く有権者に届くように改善や工夫することについて、総務省の見解を伺いたい。
- ・衆議院の解散は突然行われるため、選挙準備のために解散から選挙までもう少し余裕が欲しいという市町村の選挙管理委員会の声があるが、各選管が余裕を持って準備できるよう改善や工夫することについて、総務省の見解を伺いたい。
- ・昨年の衆議院議員総選挙において発生した滋賀県甲賀市選挙管理委員会による開票事務の不正事件に対する見解及び再発防止のための対応について、野田

総務大臣に伺いたい。

塩川鉄也君（共産）

- ・最近の 5 年間にこれまでなかった選挙管理委員会の開票事務の不正事件が 3 件（高松市、仙台市、甲賀市）も起きていることについて、所管大臣としてその理由を分析、把握しているか野田総務大臣に伺いたい。
- ・甲賀市における不正事件に関わった選管の幹部職員が不正の理由を開票遅れの回避と説明していることから、開票時間の短縮というプレッシャーが事件の背景にあったと考えるが、総務省の見解を伺いたい。
- ・国政選挙に係るこれら 3 件の不正事件からしても、選挙における経費や人員配置など公正な選挙を保証するための事務体制を含めて、3 件の不正事件を検証する必要があると考えるが、野田総務大臣の見解を伺いたい。

杉本和巳君（維新）

- ・日本維新の会が参議院に提出している政党の選挙区支部による選挙区内にある者に対する寄附を禁止しようとする公職選挙法改正案に対する野田総務大臣の見解を伺いたい。
- ・投票率向上の具体策として投票率が向上した事例を各選挙管理委員会へどのような形で伝えているかについて総務省へ確認したい。